

FANCT

旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”
平成30年6月発行

vol.131



入学式

Contents

特集

平成30年度の旭川高専2～5

校長からのメッセージ 2

各副校長からのメッセージ 3

新学級担任からのメッセージ 4

新任・転任教職員挨拶 5

カセサート大学インターンシップの紹介 ... 5

学生総合支援センターからのお知らせ 6

高等専門学校機関別認証評価について 6

新入生合宿研修 7

平成30年度行事予定 (6～10月) 8

校長からの メッセージ



校長 清水 啓一郎

本校は、平成29年度国立高等専門学校機構「“KOSEN(高専)4.0” イニシアティブ」事業として『食品・農業・医療福祉を見据えた地域ベースドラッシング型プログラムの開発』を推進しています。この事業は、北海道の主力産業である「食品」と「農業」、旭川の強みである「医療」と「福祉」に工学技術とビジネス要素を融合することによって新たな発展を生み出す「農工連携」、「医工連携」の取り組みです。また、この取り組みは、「新産業を牽引する人材育成」と「地域への貢献」を柱として、本校の強みと特色を伸長し、第4期中期計画期間（H31～H35）に向けて本校の教育基盤強化を図ることも目的としています。

「農工連携」について考えてみると、北海道の主力産業である農業の現状は、食料自給率が221%で全国1位（カロリーベース）、全国の1/4の耕地面積を活かした稲作、畑作、酪農などの土地利用型農業を中心とした生産性の高い農業を展開しており、農業算出額は全国の13.2%を占めています。農業経営体当たりの耕地面積は28.2haと都府県の13.4倍の規模となっています。しかし、農業人口に占める65歳未満比率は61.4%あるものの、徐々に高齢化の波が押し寄せてきており、過疎化・少子化による後継者不足対策や対TPPコスト力強化も大きな課題となっています。

北海道も含めた日本の農業の課題を以下の4点にまとめました。

- ① EU並みの効率的生産技術体系の確立
- ② 生産効率限界を打破する農業技術革新と海外展開推進
- ③ 生産者から最終消費者までを繋ぐバリューチェーンの構築
- ④ 食と農業に関する研究開発拡大と農工連携エンジニアの人材育成

上記課題解決には、工学技術の農業展開が鍵となります。

ICT農業が注目されていますが、農業分野への工学技術応用はまだ不十分です。工学技術応用により、更なる高効率化と省力化を実現すると共に、ビジネス要素と融合することで新規ビジネスを起こすことが、北海道の発展に寄与することになります。



入学者宣誓（本科入学生代表 坂本 裕太）



入学者宣誓（専攻科入学生代表 矢藤 雄也）



新入生の様子



歓迎のことば（学生会会長 中川 夢斗）

各副校長からのメッセージ



副校長(教務担当)
教務主事
三井 聡

新しい演習室への期待

昨年度に引き続き、教務主事を務めることになりましたシステム制御情報工学科の三井です。

4月5日に入学式が挙行され、機械システム工学科41名、電気情報工学科40名、システム制御情報工学科44名、物質化学工学科45名の合計170名の新入生と24名の専攻科生を迎えました。

本年度は本科生812名、専攻科生42名の合計854名の学生が在籍し、校長以下61名の教員が教育・研究指導を行いますので、よろしくお願いします。

図書館の2階の講義室1をアクティブラーニング型授業や情報セキュリティ授業が行なえるようにプロジェクタ4台と大型スクリーンを設置した次世代教育演習室に改修し、さらに移動可能な机を用意しました。教員にはこの演習室を積極的に利用し、学生参加型の授業ができるように工夫を凝らしていただきたいと思います。

最後に、お子様の将来のためにも、我々教員と保護者が一つになって、教育しなくてはならないと思っています。御協力をお願いします。



副校長(寮務担当)
寮務主事
梅田 哲

新年度を迎えて

この4月より寮務主事を務めることになりました物質化学工学科の梅田です。私と一緒に寮生指導にあたる寮務主事補の先生は、機械システム工学科の立田先生、電気情報工学科の吉本先生、一般人文科の櫻井先生です。寮務委員の先生達と協力して寮生に対する種々の指導・教育を担うことになり

ます。どうぞよろしくお願いします。

明誠寮では「基本的な生活習慣を身につけること」と「集団生活のルールを守ること」を二本柱として、寮生が安全・安心して寮生活を送れるよう指導に取り組んでいます。さらに、成績不振者を減らすべく低学年での学習会の実施により学習習慣の確立を目指しています。

また、よりよい寮にするためには、寮生一人ひとりの自覚と協力が不可欠であり、近年は寮生会専門委員会を中心とした寮生の自治力向上を目標にして教職員もサポートしているところです。保護者の皆様には、寮での指導・教育についてどうぞご理解ご協力をよろしくお願いします。



副校長(学生担当)
学生主事
鈴木 智己

感受性と寛容性

本年も引き続き学生主事として学生指導を担当することとなりました。どうぞよろしくお願いします。

入学式や始業式では、学生指導の目的について、学生一人ひとりが学校生活やその他のさまざまな活動を通して、将来社会の一員として生きていく際に必要となる人間性を培うとともに、社会規範に対する意識を高めることができるように支援をしていくことであると話をさせていただきました。

最近では触法行為により指導を受ける学生がひと昔前に比べると激減している反面、コミュニケーション能力の欠如に起因する人間関係上の問題が残念ながら増える傾向にあります。複数あるいは多くの人に関わったより複雑化した問題の解決にはそれだけ時間と労力を要することとなります。また、一人ひとりの他者に対する寛容度が小さくなっているという傾向もあるように思われます。ものづくりに携わる技術者を育てる使命を負う私たちの学校ですが、「もの」の向こう側にいる「ひと」を意識することなくして「ひと」に優しい技術を追求することはできません。それだけに、学生の皆さんには相手を理解することのできる感受性と相手を受け入れる寛容性を備えた成長を期待しています。

本校卒業生が冬季オリンピックでメダルを獲得するという明るいニュースもありました。将来大きく花開く可能性を秘めた旭川高専生一人ひとりの成長と活躍を保護者の皆様とともに見守って行きたいと思えます。



副校長(専攻科担当)
専攻科長
大島 功三

専攻科へ行こう！

専攻科は、本科の教育を発展させ、さらに高度な専門知識と研究開発能力を身に付けた創造的で実践的な技術者・研究者を養成することが目的で、JABEE（日本技術者教育認定機構）によって認定された教育プログラムを履修し、大学改革支援・学位授与機構によって認定された課程を修了することで学士の学位を授与されます。これ

まで300人を超える修了生を輩出し、高度で幅広い知識を身に付けた修了生に対する企業・大学（院）の評価は非常に高く、優秀な人材として求められています。

専攻科入学生の多くは、本科卒業生からの受け入れで、慣れ親しんだ環境で勉強・研究ができる一方、(海外)インターンシップ、学会発表、エンジニアリングデザイン教育など多くの学外活動を通じて分野横断的能力を身に付けることができます。

旭川高専という環境でレベルアップに挑戦したい学生を歓迎し、教職員とともに専攻科を進化、発展させてくれる学生を望んでいることを、新入生及びこれから専攻科を目指す学生へのメッセージとして送ります。

新学級担任からのメッセージ

機械システム工学科1年(以下、1M)担任の谷口です。1年生全クラスの『現代社会』の授業を担当しています。

1Mは41名のうち20名が寮生のクラスです。北海道だけではなく本州からも仲間が集まってくれました。明るくて素直な学生さんばかりです。今のところ、学習意欲は十分にあるクラスです。まずは、日々の生活を大切に、毎日の学習が生活の一部になるようにしましょう。そして、徐々に基礎学力を身に付け、ステップアップを図りましょう。一日も早く、自律して自己管理ができるようになると良いですね。自己管理ができるようになると、クラスの仲間のことを考える余裕もできます。偶然か運命なのか分かりませんが、1M41人は、旭川高専で出会いました。この仲間との出会いを大切にしてください。まずは、1年間、健やかに穏やかに過ごせると良いですね。

電気情報工学科1年は、出身中学が34校であり、男子36名、女子4名からなるクラスです。入学後1週目に行なわれた合宿研修において、いろいろなイベントを通じてクラスの仲間を知り、互いに協力し合うことを学んだことと思います。これから5年間、立派な技術者・社会人になるという目標のもとに、学習についてはもちろんのこと、多くのことにしっかりと取り組んで充実した学生生活を送っていくことを望んでいます。

対面式や新入生合宿研修で早くも思い切りや団結力を見せてくれたシステム制御情報工学科1年。スタートダッシュは完璧だったと思います。最初のホームルームで話しましたが、「楽しむことを大事にする」という原則を忘れなければ、これから5年間の高専生活も最高のものになると信じています。勉強はもちろん大事ですが、それだけでなく部活動や校外の活動などにもどんどん積極的に取り組んで様々なものを学んで行ってください。応援しています。

旭川高専ようこそ!! この5年間みなさんにとって社会に出るための重要な準備期間となります。「ルールを守ること」、「周りの人と良好な人間関係を構築できること」、「自己管理ができること」など身につけてほしいスキルがたくさんありますが、それ以上に与えられた指示に従うだけでなく、場面に合わせて「自分で考えて」行動できる人になってほしいと思います。



1年

機械システム工学科
1年学級担任
谷口 牧子

電気情報工学科
1年学級担任
長岡 耕一

システム制御情報工学科
1年学級担任
寺木 悠人

物質化学工学科
1年学級担任
沢谷 佑輔

学級担任となった平(たいら)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。残りの3年間で学生の皆さんには、どんなことでも「まずはやってみよう」という気持ちを持てるようになってもらいたいと思っています。社会に出て活躍するためにも、いろいろなことを経験してみてください。時には失敗することもあると思いますが、そこから学ぶことも多いはずですので、新しくやってみたいことがあればサポートしますので、相談してください。

システム制御情報工学科3年の学級担任となりました以後直樹(いごなおき)です。保護者の皆様、まずは今年1年間よろしくお願いいたします。クラスの皆さんにお願いすることは、「勉強してください」と「提出期限の厳守」の2点です。「勉強してください」は、簡単に言うと、ゲームやアニメに振り分けているパラメータを勉強に振り分けるようにしてください。「提出期限の厳守」を実現するために、課題はため込まずにその日のうちに片づけるようにしてください。

いよいよ機械システム工学科3年がスタートしました。皆さんのフレッシュな顔ぶれを目の前に、新学級担任として身の引き締まる思いで一杯です。これから3年間、皆さんが充実した学生生活を送れるよう、また、最善の進路を実現できるように、可能な限りの支援をしていきたいと考えております。さらに、保護者の皆様方には学級運営にあたり様々な面でご支援、ご協力を賜ることがあるかと思いますが、何卒、宜しく申し上げます。

縁あって、4年振り3回目の学級担任として、しばし皆さんと同じ時を過ごすことになりました。「仲が良く、素直で前向きなクラス」との印象をもっていましたが、これからはその構成員である一人ひとりと向き合いながら、それぞれの特性に見合った指導・支援を行えるよう努めていきます。

一年間、『面倒だから、しよう!』をモットーに、『当たり前前を当たり前前』に実行することを継続し、『全員進級!』を果たしましょう。



3年

機械システム工学科
3年学級担任
横井 直倫

電気情報工学科
3年学級担任
平 智之

システム制御情報工学科
3年学級担任
以後 直樹

物質化学工学科
3年学級担任
古崎 睦

新任・転任教職員挨拶



准教授
山本 佳奈

この春、旭川高専の教員として着任いたしました。専門は農業生態学およびアフリカ地域研究で地理と農工連携の科目を担当します。現在の農村の課題やアフリカの社会・自然・文化の面白さを伝えていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



学生課長
千日坂 和彦

この4月に北海道大学産学連携課から異動してきました千日坂です。趣味は、高校時代から続けてきたランニングです。高専の勤務は初めてですが、学生をサポートすることを第一に考えていきたいと思っています。これから旭川高専の魅力をどんどんPRしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



総務課施設係主任
八田 紘介

この4月に北海道大学函館キャンパスから異動となりました八田です。私は本校の卒業生になります。自分が学生時代に助けていただいたように、これまで経験してきたことを活かして、皆様のお力となれるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



総務課研究協力係
沖中 由香

3月まで北海道教育大学で16年間勤務しており、この4月に出向という形で旭川高専に着任しました。少しでも皆様のお役に立てるよう、これまでの経験を活かして精一杯努めていきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



総務課契約係
上平 裕也

北海道大学より出向から復帰しました上平です。北海道大学で得た経験を生かしながら、また新たな気持ちで頑張りたいと思います。皆さんに貢献できるよう精一杯努めますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



学生課学生係
藤川 暢倅

この4月に学生課学生係に採用となりました藤川です。学生課ということで、学生の皆さんとは関わることも多く、また年齢も近いので気軽に話しかけていただきたいです。一日でも早く皆さんに充実したサポートが出来るよう努めていきます。

カセサート大学インターンシップの紹介

本校では、今年初の試みとして、タイのバンコクにあるKasetsart University (カセサート大学) 工学部に、本科4・5年生及び専攻科生10名を派遣します。

今回は8月20日(月)～24日(金)の1週間という短い期間ですが、来年度以降は1か月程度の長期インターンシップを予定しています。語学力水準は、TOEIC400点以上又は実用英語検定(英検)準2級以上を設定していますので、来年度以降に対象となる学生の皆さんは、ぜひ、語学力を向上させて応募してください。

次号以降の本誌において、派遣学生の現地実習報告を掲載します。





学生総合支援センター長
後藤 孝行

学生総合支援センターからの お知らせ

学生総合支援センターは、「学生相談室」、「キャリア形成支援室」、「特別支援室」で構成されています。本センター長は後藤孝行（機械システム工学科）が務めさせていただきます。

学生相談室の室長は私が兼任します。学生の個人的問題（修学上の悩み、心身の健康、いじめ、ハラスメント等）の相談を受けてその早期解決の手助けに取り組みます。キャリア形成支援室の室長は佐竹利文先生（システム制御情報工学科）です。学生の進路（就職・進学）に関する指導やキャリア形成支援に取り組みます。特別支援室の室長は教務主事である三井聡先生（システム制御情報工学科）です。発達障害者支援法に基づき、修学上に特別な配慮を必要とする学生のための学習環境の整備や支援に取り組みます。

学生および保護者の皆様におかれましては、ご心配事等ございましたら、各室へご相談いただければ幸いです。どうぞ宜しくお願いします。

学生相談室開室日（平成30年度前期）

曜日	時間 ^{*1}	相談員	連絡先
月	15:00～17:00	教職員相談員 後藤 孝行（機械システム工学科）	0166-55-8006 gotoh@asahikawa-nct.ac.jp
火	12:30～16:30	カウンセラー（臨床心理士） 石黒 三知子	0166-55-8146 ishiguro@asahikawa-nct.ac.jp
水 ^{*2}	15:00～17:00	教職員相談員 畑口 雅人（電気情報工学科）	0166-55-2020 hataguti@asahikawa-nct.ac.jp
		教職員相談員 小林 渡（物質化学工学科）	0166-55-8039 wataru@asahikawa-nct.ac.jp
木	13:30～17:30	カウンセラー（臨床心理士） 藤井 厚子	0166-55-8146 0166-22-8189（六条医院） fujii @asahikawa-nct.ac.jp
金 ^{*2}	15:00～17:00	教職員相談員 中村 基訓（システム制御情報工学科）	0166-55-8032 nakamura@asahikawa-nct.ac.jp
		教職員相談員 江口 篤史（技術創造部）	0166-55-8127 eguchi @asahikawa-nct.ac.jp
月～金	9:00～17:00	及川 久美子（看護師） ^{*3} 酒井 明奈（非常勤看護師） ^{*3}	0166-55-8145 oikawa@asahikawa-nct.ac.jp sakai_m@asahikawa-nct.ac.jp

※1 開室時間等については、休日・長期休暇を除く。

※2 水曜日・金曜日は隔週交代になります。

※3 看護師は隣の医務室にあります。

高等専門学校機関別認証評価について

高等専門学校は、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況について、7年以内ごとに、文部科学大臣の認証を受けた評価機関（認証評価機関）による評価（認証評価）を受けることが、学校教育法等により義務付けられています。

旭川工業高等専門学校は、平成29年度に第3回目の高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていることが認定されました。

詳細については、本校ホームページ（<http://www.asahikawa-nct.ac.jp/gakkou/index9.html>）をご覧ください。

各クラス代表 インタビュー

質問!

- ①合宿研修を終えて
- ②印象に残ったこと
- ③今後の高専生活について
- ④クラスの雰囲気について

- ①個性豊かなメンバーに囲まれて、すごく楽しかったです。
- ②スポーツ活動のミニバレーです。寮にいるクラスメイトとチームワークを発揮できたことです。
- ③新入生合宿研修でたくさん友人が出来たが、これからもっと友人を増やしていきたいです。
- ④旧目のエンカウンターで話し合いがあったのですが、校歌にもある「春光台にそそり立つ」という内容に合わせ、元気よく堂々としたクラスです。

- ①入学時とは違い、クラスの距離が近づきました。
- ②スポーツ活動のミニバレーです。負けたチームの学生も応援するなど、クラスのみならず一体になってプレーできて楽しかったです。
- ③この新入生合宿研修で磨いた団結力を今後更に磨いて行きたいです。
- ④この新入生合宿研修を通して一気にクラスが明るくなり一体感が増しました。

- ①今まで話したことがないクラスメイトと話すことが出来て良かったです。
- ②スポーツ活動のミニバレーです。最終的に自分のクラスは負けてしまいましたが、クラス一丸となって応援して楽しかったです。
- ③この新入生合宿研修でクラスの仲間良くなったので、勉強等も頑張りたいです。
- ④ここぞという時は一致団結する、個性豊かなクラスです。



片桐 諒雅
電気情報工学科1年

物質化学工学科1年

長谷川 祥輝



機械システム工学科1年



嵐 聖華

- ①新入生合宿研修が始まった当初、遠慮や緊張をしていましたが、すごく仲良くなったことです。
- ②スポーツ活動です。
- ③勉強を友人と楽しく切磋琢磨して頑張りたいです。
- ④個性豊かなメンバーで、いい人がたくさんいて楽しみです。

システム制御情報工学科1年

小山内 英介

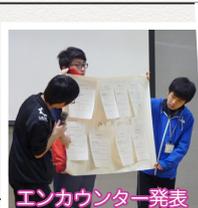


インタビュー
物質化学工学科4年
丹治 佑那

学生主事補から

担当学生主事補 松浦 裕志

4月12日(木)・13日(金)の2日間、ネイバル深川において新入生合宿研修が行われました。この研修には3つの目的があります。一つ目は「各種行事やクラブ活動、寮生活など、高専生活の概要を理解する」でした。学生会に所属する上級生や、卒業生、教員から今後の高専生活等についてお話をいただきました。二つ目は「学生相互の理解及び友情を深めるとともに、学生と教員の信頼関係を築く」でした。多くの活動を通してクラスメイトや担任の先生と深い交流ができたのではないかと思います。三つ目は「学生として、市民として必要なマナーを理解させ、他人への思いやりの心を育む」でした。ホテルではなく、今回宿泊した研修施設にはさまざまなルールがあります。そのルールを守り、他者への理解を深める経験ができたでしょうか。この研修を通して、これからの学校生活での礎を築いてほしいと思います。



学生会会長から

電気情報工学科4年 中川 夢斗

4月12日(木)・13日(金)に行われた1年生の合宿研修に僕も同行させていただきました。実はこの研修に行くのは3回目なのですが、今年の1年生は特に仲が良いように見えました。夕食後、体育館が解放されるとすぐに体育館で遊ぶ1年生が多くみられ、「僕が1年生の時と全然違うなあ」と正直驚きました。

例年、創作活動の一環として「コップ作り」があったのですが、今年は「エンカウンター」と呼ばれるオリエンテーションを行うことになりました。個人的には出会って1週間や2週間しかたっていない子たちが、意見を出し合って自分たちのクラスのイメージを決めることは難しいと考えていましたが、持ち前の仲の良さ、活発なところを活かし各クラスそれぞれのイメージを固めていって、エンカウンターを無事成功させてくれました。今私が所属する電気情報工学科4年は、4年間経ってやっと今の1年生のような団結力を得られました。すでにそれを手にしている君たちは今後さらに強みを生かしたたくさんのことに挑戦してほしいです。高専の5年間は長いようで一瞬です。一瞬で過ぎていく5年間を充実させるためにも、この合宿で育んだ友人達との絆を大切にしてください。



行事予定

平成30年度

6～10月

6月	5日(火)～11日(月)	前期中間試験(本科)
	9日(土)	平成31年度専攻科前期学力選抜試験
	16日(土)	明誠寮祭
	21日(木)	進路に関する講演会(本科4年・専攻科1年)
	21日(木)・22日(金)	宿泊研修(本科2年)
	23日(土)	北海道地区高等専門学校体育大会(陸上)
	28日(木)	思春期講演会(本科2年)
7月	7日(土)・8日(日)	北海道地区高等専門学校体育大会
	11日(水)～17日(火)	水原ハイテク高等学校交流事業(受入)
	12日(木)	第2回TOEIC IPテスト、防火訓練
	14日(土)・15日(日)	北海道地区高等専門学校体育大会(バスケットボール、アーチェリー)
	21日(土)	平成31年度編入学者選抜試験
	26日(木)～8月28日(火)	夏期休業(本科)
	28日(土)・29日(日)	体験入学
8月	6日(月)～9月21日(金)	夏期休業(専攻科)
	16日(木)～9月3日(月)	全国高等専門学校体育大会
	22日(水)～28日(火)	水原ハイテク高等学校交流事業(派遣)
9月	2日(日)	オープンキャンパス
	6日(木)	第3回TOEIC IPテスト
	12日(水)～19日(水)	前期末試験(本科)
10月	13日(土)	北海道地区高等専門学校体育大会(ラグビー)
	19日(金)～21日(日)	高専祭
	20日(土)・21日(日)	保護者懇談会
	24日(水)～26日(金)	見学旅行(本科4年)
	28日(日)	全国高等専門学校ロボットコンテスト北海道地区大会

FANCT vol.131

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」をつけて「Fun」（楽しい、愉快的）の首を付けました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しいな学校だよりになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8000 (代表)

FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の二次利用は固くお断りいたしております。

編集後記

平成30年度第1回目の「学校だよりFANCT」131号をお届けします。新入生の皆さんは、4月5日の入学式、翌日の対面式、健康診断に続き合宿研修と行事が立て込み、5月の連休を迎えてようやくこの1ヶ月の緊張を解くことができたのでは？在校生の皆さんも、始業式の校長および各主事による方針を聞き、昨年度を振り返りつつ、気持ちを新たに今年度の第一歩を踏み出したのでは？5年間は長いようで短いので、自分の夢の実現に向けて精一杯努力することを願っております。保護者の皆様に於かれましては、学生たちの学校での様子をこのFANCTと学校ホームページでお伝えしていきますので、どうぞ宜しくお願いします。

津田 勝幸 (学校広報 WG)